



味の素ファンデーション「食と栄養」国際助成プログラム（AIN） 2027年度 助成金応募要項

応募期間：2026年6月1日(月)～2026年8月31日(月) 日本時間 23時59分

【目次】

- 1. プログラムの趣旨…………… P.2
- 2. 助成の対象…………… P.2
- 3. 助成期間・助成金額…………… P.3
- 4. 申請者の資格…………… P.3
- 5. 選考の基準と選考方法…………… P.4
- 6. 助成プロジェクト決定および開始後の活動…………… P.5
- 7. 公募実施体制…………… P.7
- 8. 応募方法…………… P.7

【申請書類記入の手引き】

- 1. 申請書類…………… P.8
- 2. 申請書類の記入について…………… P.8

公益財団法人味の素ファンデーション



1. プログラムの趣旨

AIN は、開発途上国における「食と栄養」の国際協力活動を支援し、地域社会の人々の生活の質の向上を目指す助成プログラムです。

各国・地域の自然環境、社会・経済状況、文化などに根ざした「食と栄養」への取り組みは、日々の暮らしの中で繰り返し営まれることにより、一人ひとりの栄養改善にとどまらず、世代や性別を超えて継承され、やがて地域の自信と誇りにつながっていきます。

人々の、地域の、そして地球の持続可能な〈生きる力〉を育む「食と栄養」分野の国際協力活動を、本プログラムを通じて皆様と共に創り上げていければ幸いです。

なお、本プログラムでは、「食と栄養」分野での活動経験がない団体による新たな挑戦も歓迎しています。

皆様からの積極的なご応募を心よりお待ちしております。

2. 助成の対象

(1) 対象となる課題

「食・栄養」分野に関連する課題

- ・「食と栄養」分野の課題解決に向けた主な活動とは、栄養の改善活動および食と栄養を切り口とし、地域の優先課題の解決促進に資する社会的な仕組みづくりのことで。
- ・保健分野については、人々の疾患予防や健康増進につながり、良好な「食と栄養」生活の土台をつくるものである限り対象に含みます。
- ・すべての課題について、社会・文化・宗教的な理由により見解が分かれるようなプロジェクトに対する助成は、慎重に検討します。

(2) 対象となる活動の内容

「実践活動」

- ・AIN の成果として、プロジェクト前後の変化を確認できるようにしてください。
- ・将来的に「実践活動」につながることを期待できる場合は、「教育・教材等開発/提供」や「技術研究」についても対象となります。申請書にその点について記入してください。
- ・食と栄養の課題解決を目指した経済的利益を得る活動については、持続可能な仕組みづくりの手段として受益者にその利益が再分配されるものであれば対象とします。
- ・食材等の物資提供や配布のみで完結するプロジェクトは対象外とします。ただし、自立・継続の過程であれば対象とし、計画を申請書に記入してください。
- ・成果結果を専門誌等に投稿する意欲のある実践研究を応援します。

(3) 対象となる国・地域

「中南米、アフリカ、アジア、中東、大洋州（日本を除く）」

- ・プロジェクト実施にあたり、安全性の確保に大きな問題がないことを必要条件とします。
- ・特に、応募締切日以降、活動対象となる国および国内の地域において、外務省の海外安全情報（危険情報）により、「レベル3：渡航は止めてください（渡航中止勧告）」または「レベル4：渡航は止めてください（退避勧告）」と発出されている場合は対象外とします。

(4) その他

- ・申請団体が主体的に責任を持ってプロジェクト実施を行い、活動および予算の進捗のモニタリングを行ってください（カウンターパートへの資金送金に留まらず、定期的に進捗状況を把握し、主体的に活動を進めることを望みます）。
- ・助成プロジェクトを動画で紹介していますので、申請の際の参考にしてください。
<https://www.youtube.com/channel/UChy2Sdzo-AHsAfmijv0WF7w/videos>
- ・プロジェクト計画作成に際して、JICA の「NGO 等向け事業マネジメント研修」の受講を推奨します。事業の計画・立案、モニタリング・評価を無料で学ぶことができます。

3. 助成期間・助成金額

(1) 助成期間：最長 3 年

- ・原則として、プロジェクト実施期間は 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までです。
- ・助成期間が複数年度にわたる場合でも、年度ごとに助成継続の可否判断を行います。

(2) 助成金額：年間上限 300 万円

- ・会計年度は 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までです。
- ・間接費は各年度の助成申請金額の 30% を上限とします。
- ・助成申請金額は申請通りには承認されない場合があります。
- ・物品の寄付や施設の建設のみで完結するプロジェクトは対象外です。ただしプロジェクト目標を達成するために、診療所、学校、加工施設などの施設建設が必要な場合は対象として扱うことができますが、建設費は助成申請総額の 50% を上限とします。

4. 申請者の資格

以下の資格を満たす申請者を審査対象とします。

- (1) 原則として、日本に拠点を有する団体であること（日本語でコミュニケーションがとれること）。
- (2) 原則として、非営利団体（法人格の有無は不問）であること。

- (3) 組織を発足させてから2年以上の事業実績を有すること。
- (4) プロジェクトを展開するための現地事務所、またはカウンターパートがいること（現地事務所やカウンターパートについては、(1)の資格条件は対象外）。
- (5) 申請プロジェクトにおいて、政治的、宗教的活動は類似の行為を含めて一切行わないこと。
- (6) 同一団体への再度の助成については、同じ国または異なる国に関わらず、前回の助成完了後1年以上空いていること（連続助成不可）
- (7) 共同事業体での申請も可とする。但し、以下の条件を満たしていることを必須とする。
- 1) 代表団体を決定し、代表団体から責任者を選出すること。
 - 2) プロジェクト期間中、代表団体・責任者の変更は原則として認めない。
 - 3) AIN 事務局とのコンタクト先は代表団体とし、代表団体が必ず報告書提出等の責任を負うこと。
 - 4) 構成する各団体が、申請者の資格(1)～(6)を満たしていること。

5. 選考の基準と選考方法

(1) 選考の基準

以下の基準に沿って、審査を行います。

基本要件	AIN適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・申請プロジェクトは「食と栄養の改善」に明確に寄与する目的・設計か ・開発途上国の人々の生活の質向上に資する内容か ・AINプログラムの趣旨・助成条件と明確に合致しているか ・目標・成果・活動が論理的につながっているか ・目標・活動内容が公益性を有しているか
プロジェクト評価	プロジェクトの 妥当性・有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者ニーズや現地課題の把握が適切か ・課題設定とプロジェクト内容の因果関係が明確か ・提案されているアプローチは、課題解決に合理的か ・プロジェクト実施により、食・栄養改善に向けた行動変容や成果が期待できるか
	インパクト	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト実施による直接的効果が明確か ・間接的効果や波及効果（地域・他主体への影響）が期待できるか ・成果が一定範囲にとどまらず、広がりや深まりを持つ可能性があるか
	実施の 実現性・実行力	<ul style="list-style-type: none"> ・実施体制（人材・役割分担）は適切か ・団体の経験・実績はプロジェクト内容に見合っているか ・予算規模・配分は活動内容に対して妥当か ・想定されるリスクと対応策が検討されているか ・計画は現実的に実行可能と判断できるか
	持続・発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト終了後も効果が維持・発展する見込みがあるか ・技術・知識・スキルの定着や移転が想定されているか ・組織的・財政的な自立や継続の道筋が描かれているか ・現地行政や関係機関との関係性が考慮されているか
その他	独自性	<ul style="list-style-type: none"> ・AINプログラムとして特筆すべき独自性・挑戦性・価値があるか

(2) 選考方法・スケジュール

以下のスケジュールに沿って、選考を行います。

2026年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2027年 1月	2月	3月
公募期間			一次審査 (書類)			二次審査 (面談) →内定	プロジェクト計画 予算計画 確認	契約	

1) 一次審査

「食と栄養支援委員会」による書類審査を実施し、助成候補案件を選出します。

審査結果は 12 月末までに、全申請団体へ電子メールにて通知します。

2) 二次審査

一次審査通過団体は、「食と栄養支援委員会」にて面談審査を実施し、採択団体を内定します。

審査結果は翌年 1 月末までに、電子メールにて通知します。

6. 助成プロジェクト決定および開始後の活動

(1) プロジェクト計画の最終確定

内定後、AIN 事務局にてプロジェクト計画および予算計画の詳細確認を行います。食と栄養支援委員会からの助言等の反映や、プロジェクト計画および予算計画の修正を必要に応じて対応いただいた後、最終確定とします。

(2) 契約締結

プロジェクト計画および予算計画の最終確定後、契約書締結に進みます。プロジェクト実施団体の代表は（公財）味の素ファンデーション理事長と契約を取り交わし、これに基づいてプロジェクトを実施することとします。契約後、プロジェクトに関する情報が公表されます。共同事業体申請の場合、すべての団体の代表と契約を取り交わします。

(3) 助成金の支払い

原則として、助成金は単年度ごとの支払いとします。助成年度の 4 月末までに団体の日本口座へ振り込みます。海外口座の場合は要相談となります。

(4) AIN によるサポート

課題や進捗状況に対して、AIN 委員からの助言等を行います。

(5) プロジェクト報告

プロジェクト実施期間中は年度の間時点、年度終了時点、プロジェクト終了時点で報告書を提出していただきます。それぞれの報告書提出後に報告内容に関しての面談を行います。また、プロジェクト終了後、食と栄養支援委員会にて報告を実施いただきます。

会計報告書は、年度ごとに予算と実績が分かるよう記入し、実績と紐づけされた領収書のコピー(PDF)を提出していただきます。

(6) 現地視察

原則として、プロジェクトの現地視察を行います。現地視察実施時期については、AIN事務局と確認の上、決定します。

(7) プロジェクト評価

プロジェクト終了時に、終了時評価をAINと団体との共同で実施します。

(8) 報告会・アンケート

プロジェクト終了後に、団体は報告会への参加やアンケートを依頼される場合があります。

(9) 広報

団体が実施したAIN採用プロジェクトの経過や成果については、原則AINとしてホームページ、学会、各種記事などで発表されます。

AIN採用プロジェクトの広報時には、味の素ファンデーションの助成及びAINプログラムの助成を受けていることを明示してください。

(10) 助成の休止や中止、助成金の返還

契約期間中、プロジェクトの継続に支障をきたす状況にあると判断されたときは、助成を休止または中止する場合があります。助成金の使用用途に問題があった場合、また助成金の残金があった場合は、返還いただく場合があります。

(11) 成果の学会等での発表

団体には実施プロジェクトの成果を実践活動・実践研究として学会などに発表することを推奨します。

例：

- 1) 日本国際保健医療学会
- 2) 日本栄養改善学会
- 3) 日本公衆衛生学会

7. 公募実施体制

主管：公益財団法人味の素ファンデーション

審査・提言：食と栄養支援委員会

事務局：AIN 事務局

8. 応募方法

(1) 応募期間

2026年6月1日（月）～8月31日（月） 日本時間 23時59分まで

(2) 応募手順

1)味の素ファンデーション ウェブサイト内にある AIN プログラムページから、応募要項、プロジェクト計画書、予算計画書、プロジェクト体制に関する書類をダウンロードしてください。

AIN プログラムページ: https://www.theajinomotofoundation.org/ain/#flow_requiredData

2)応募要項に従って書類を準備後、味の素ファンデーション ウェブサイト内にある AIN プログラムページの応募フォームより、必要事項を入力の上、必要書類を添付して応募してください。

応募フォームを送信後、自動返信メールが届きます。受信できない場合は、味の素ファンデーションウェブサイト内「お問い合わせ」フォームよりご連絡ください。

(3) お問い合わせ先

味の素ファンデーション ウェブサイト内「お問い合わせ」フォームよりお問い合わせください。内容を確認の上、AIN 事務局より返答します。

以上

申請書類記入の手引き

1. 申請書類

申請書類は以下の通りです。②～⑥の書類は PDF ファイル化し、申請時に添付が必要です。

書類	形式
①申請書	味の素ファンデーション ウェブサイト内 AINプログラムページ 応募フォーム ※Googleアカウントでのログインが必要です
②プロジェクト計画書（指定フォーマット）	Excel→PDF変換 A3横 1枚、サイズ上限1MB
③予算計画書（指定フォーマット）	Excel→PDF変換 A4縦 1-3枚、サイズ上限 1 MB
④プロジェクト体制（指定フォーマット）	Word→PDF変換 A4縦 数枚、サイズ上限10MB
⑤団体の活動報告書（直近2年間分） ※共同事業体申請の場合、構成する各団体分を添付してください	PDF サイズ上限10MB ※1団体1ファイルにまとめてください
⑥団体の事業計画書（直近1年間分） ※共同事業体申請の場合、構成する各団体分を添付してください	PDF サイズ上限10MB ※1団体1ファイルにまとめてください

2. 申請書の記入について

申請は、味の素ファンデーション ウェブサイト内 AIN プログラムページの応募フォームから応募してください。本応募フォームは Google フォームを使用しています。入力内容の一時保存およびファイルのアップロードには、Google アカウントでのログインが必要となります。

申請者基本情報

※プロジェクト担当責任者が申請してください

（共同事業体申請の場合、構成する各団体の申請者基本情報を記入いただきます）

- ・申請団体名（記述：日本語 40 文字以内）
- ・申請者
- ・メールアドレス
- ・連絡先電話番号

1. 申請プロジェクト概要

- 1-1.プロジェクト名（記述：日本語 40 文字以内）
- 1-2.実施国・地域（対象となるすべての地域を記入してください）
- 1-3.東京から現地への行き方（記述：日本語 200 文字以内）
- 1-4.プロジェクトの目的（記述：日本語 200 文字以内）

もし、実施中事業の一部分を申請プロジェクトが担う場合は、その旨も記入してください。

1-5.活動カテゴリー

取り組む栄養課題、受益者のライフステージ、協働領域をそれぞれ選択してください(複数選択可能)。

1-5-1.取り組む栄養課題

- ①低栄養・微量栄養素欠乏
- ②過栄養・NCDs
- ③その他（記述：日本語 20 文字以内）

※その他の事例/病気、感染症、障害起因の栄養課題 など

1-5-2.上記（1-5-1）の栄養課題について、対象地域における具体的な食・栄養上の課題と、その根拠を記入してください（記述：日本語 200 文字以内）

1-5-3.受益者のライフステージ

- ①最初の 1,000 日（妊娠期・授乳期・新生児期・乳児期）
- ②幼児期・学童期・思春期
- ③成人期・高齢期

1-5-4.協働領域

- ①保健
- ②医療
- ③福祉
- ④食料・農業
- ⑤水衛生
- ⑥教育
- ⑦その他（記述：日本語 20 文字以内）

1-6.プロジェクトの背景と必要性（記述：日本語 800 文字以内）

国や対象地域の状況や課題、地域や受益者のニーズを明らかにし、申請プロジェクトの必要性・重要性等について記入してください。また、AIN との適合性にも触れてください。

1-7.プロジェクトの概要

以下の内容について簡潔に記入してください。

- (1) 取り組む栄養課題とその課題に対するアプローチ（記述：日本語 300 文字以内）

- (2) 行動変容や栄養改善状況等の変化を確認する指標（記述：日本語 200 文字以内）
- (3) 上位目標(中長期アウトカム) の達成に向けた取り組みにおいて、本プロジェクトがどの段階に位置するか（記述：日本語 200 文字以内）
- (4) 補足事項等があれば記入してください（独自性、連携体制など自由記入）（任意記述：日本語 300 文字以内）

1-8.プロジェクトの SDGs への貢献（任意記述：日本語 200 文字以内）

申請プロジェクトが SDGs のゴールにどのように貢献するか、記入してください。

1-9.治安状況と考えられるその他のリスクへの安全管理対策（記述：日本語 800 文字以内）

- ・治安状況の概説とそれに対する安全管理対策
- ・事業の運営・管理上のリスクとその対策
- ・感染症、天災、政治的影響等、考えられるその他のリスクと対策

1-10.プロジェクト終了後の効果持続に向けた計画

プロジェクト終了後も本プロジェクトの成果や効果が、技術的、組織的、財務的に、対象地域の人々の自助努力によって持続されるよう、プロジェクト中に実施する取り組みや工夫について記入してください。

また、プロジェクト終了後の展開についても記入してください。

プロジェクトを継続する場合は、その目的および目標を明記してください。終了する場合には、本プロジェクトの効果がどのように地域の主体的な取り組みにより維持・発展されるか、将来的に地域が主体となって目指す姿を記入してください。

1-10-1.技術面（記述：日本語 200 文字以内）

1-10-2.組織面（記述：日本語 200 文字以内）

1-10-3.財務面（記述：日本語 200 文字以内）

1-10-4.その他（任意記述：日本語 200 文字以内） ※上記以外に補足すべき事項がある場合に記入してください。

2. プロジェクト計画

「プロジェクト計画書」を以下の手順で作成してください。

(1) **目指す姿・上位目標(Overall Goal)の設定**

本プロジェクトが貢献する、中長期的に実現したい社会・地域・分野の姿を設定してください。これはプロジェクト終了後も含めた上位レベルの目標（インパクト）です。

(2) **プロジェクト目標 (Project Purpose/Outcome)と対象者の設定 (受益者・人数)**

(1) の上位目標に対して、本プロジェクトの実施期間中に、受益者に期待される具体的な変化（知識・態度・行動・状態等）をプロジェクト目標として設定してください。

併せて、対象となる直接受益者と間接受益者（それぞれの定義と人数）を明確にしてください。

(3) **プロジェクト目標達成に必要な活動結果 (Outputs) の設定**

(2) のプロジェクト目標を達成するために、プロジェクト期間中に実際に生み出される成果物や達成状態（活動結果）を設定してください

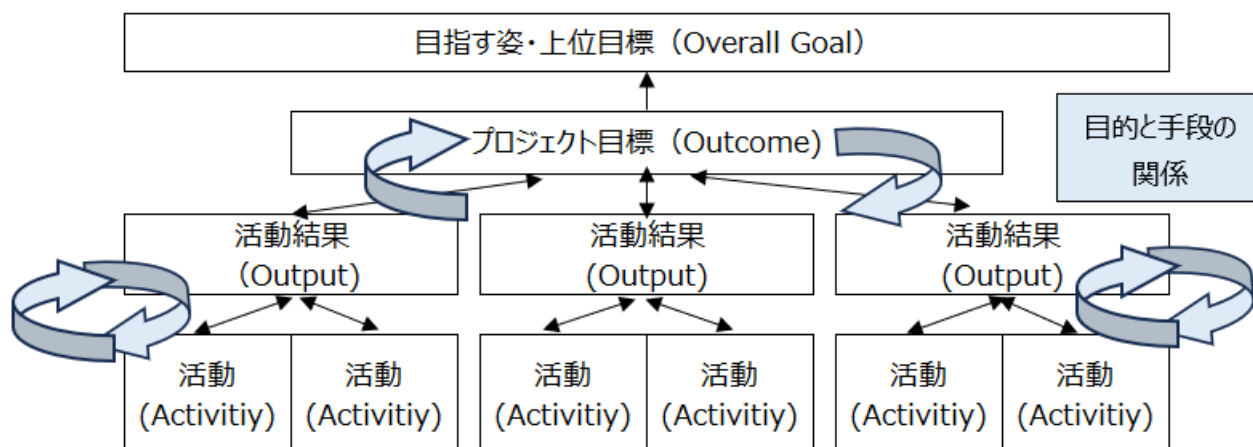
(4) **プロジェクト目標を達成のための活動 (Activities)の設定**

(3) の活動結果を生み出すために必要な、具体的な「活動」および「活動詳細」の内容を記入してくだ

さい。活動の内容、対象者、実施時期、方法等が分かるように整理してください。

(5) プロジェクト目標および活動結果の達成度を確認する指標・測定方法の設定

(2) のプロジェクト目標および (3) の活動結果それぞれについて、その達成度を定量的または客観的に確認できる「指標」と、「測定方法」を設定してください。必要に応じて、目標値や測定頻度も記載してください。



3. 予算計画

「予算計画書」を以下の内容で作成してください。

- ・申請プロジェクトに必要な経費総額
- ・当財団への助成申請金額
- ・内訳：必要経費と財源の詳細

(1) 直接経費

- ・プロジェクト活動の実施に直接関わる経費
- ・専門家（栄養分野・栄養以外の分野）による受益者への直接指導およびプロジェクト活動に係る業務の費用（人件費・謝金・旅費等を含む）
 - ※専門家とは、高度な知識や技術を有し、当該分野における活動実績・専門性を有する者を指します。
 - ※調査分析や助言等、受益者への直接指導を伴わない場合であっても、プロジェクト活動の一環として実施されるものは直接経費に含まれます。
 - ※プロジェクトの運営・管理を目的とした業務に係る費用は間接経費に計上してください。

(2) 間接経費

- ・プロジェクトの運営・管理に必要な経費
- ・人件費（運営・管理および直接指導以外の活動に係るもの）
- ・管理運営費（G&A）
- ・旅費（運営、調整、会議等を目的とするもの）

<注意事項>

- ・間接経費：各年度の助成申請金額の 30%を上限とします。

- ・建設費、設備費：当財団への助成申請金額総額の 50%を上限とします。
- ・通貨：予算計画書は日本円で作成してください。予算計画書内に行追加を行い、換算レートと現地通貨を記載頂いても結構です。
- ・他の助成を受けている場合は、助成機関名、内容、金額、期間を記入してください（申請中の助成も含まず）。

4. プロジェクト体制（実施体制、申請団体概要、カウンターパート概要）

「プロジェクト体制」を以下の内容で記入してください。

4-1. プロジェクト実施体制

4-1-1. 実施体制図

プロジェクトに従事するスタッフならびにカウンターパートの役割や人数、体制、現地関係者（地域行政、住民グループ、現地 NGO 等）との関わりについて、体制図で分かりやすく記入してください。

4-1-2. 担当責任者

※ 共同事業体申請の場合は、代表団体から選出する責任者名を記入してください

4-1-3. 専門家の参画

栄養分野および栄養以外の分野の専門家が参加される場合は記入してください。専門家に関する予算計上が発生する場合は、必ず記入してください。

4-2. 申請団体概要 ※ 共同事業体申請の場合は、構成する各団体の概要を記入してください

4-2-1. 団体名

4-2-2. 所在地

4-2-3. 代表者

4-2-4. 団体概要

4-3. カウンターパート・現地事務所の概要（必要あれば）

4-3-1. 申請団体とカウンターパートとの関係

関係の成り立ち、協同実績など、関係性を記入してください。

4-3-2. 団体名

4-3-3. 代表者

4-3-4. 担当責任者

4-3-5. 団体概要

5. 団体の活動報告書（直近 2 年間分）

団体の直近 2 年間分の活動報告書を添付してください。

共同事業体申請の場合は、構成する各団体の直近 2 年間分の活動報告書を添付してください。

6. 団体の事業計画書（直近 1 年間分）

団体の直近 1 年間の事業計画書を添付してください。

共同事業体申請の場合は、構成する各団体の直近 1 年間分の事業計画書を添付してください。

7. プロジェクト関連事項

7-1. 団体として目指す姿と主な活動実績（任意記述 日本語：1000 文字以内）

活動国・地域における、団体としての全体中長期プラン（食と栄養のみに関わらず）および、これまでの主な活動について記入してください。

あわせて、これまでに実施した関連事業や他助成金の採択実績がある場合は記入してください。

共同事業体申請の場合は、構成する各団体の役割および実績をそれぞれ記入してください。

7-2. AIN 助成歴

有無を選択してください。

過去に AIN 助成を受けたことがある場合は、直近 3 プロジェクト分の「助成開始年度」を記入してください。

（記入例）〇〇年度 助成開始

共同事業体申請の場合は、構成する各団体の助成歴を合算し、直近 3 プロジェクト分を記入してください。

（記入例）団体名 〇〇年度 助成開始

7-3. AIN 申請歴

有無を選択してください。

過去に AIN に申請をしたことがある場合は、直近 3 プロジェクト分の「申請年度」を記入してください。（採否は問いません。7-2.の AIN 助成歴に記載した助成プロジェクトも含まれます）。

（記入例）〇〇年度 申請

共同事業体申請の場合は、構成する各団体の申請歴を合算し、直近 3 プロジェクト分を記入してください。

（記入例）団体名 〇〇年度 申請

7-4. その他、特筆すべき事項（任意記述 日本語：400 文字以内）

上記の設定問以外に補足すべき事項がある場合に記入してください。

7-5. 当プログラムを知った媒体

以下の選択肢から選んでください。

「その他のサイトやメーリングリストなど」「イベント」「知人・友人など」「その他」を選択した場合は、詳細を記入してください。

- ・味の素ファンデーション ウェブサイト
- ・AIN プログラム SNS (Facebook・Instagram・X・YouTube)
- ・その他のサイトやメーリングリストなど
- ・イベント
- ・知人・友人など
- ・その他

以上